



平群坐紀氏神社の中央に通路がある割拝殿。奥に見えるのが本殿＝平群町で

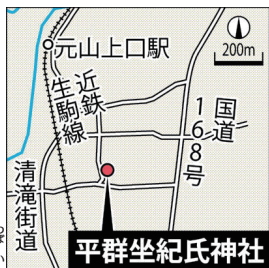


(住所) 平群町上庄5の1の1  
(祭神) 平群木菟宿禰、天兒屋根命、天照大神、八幡大菩薩  
(交通) 近鉄元山上口駅から徒歩約

15分  
(拝観) 境内自由  
(駐車場) 有り(無料)  
(電話) 0745・45・4607

平群坐紀氏神社は紀氏の祖神を祭り、辻ノ宮・椿ノ宮とも言われます。延喜式神名帳に「名神大。月次新嘗」との記載があり、延喜式名神祭に連座する285座の一つ。平群谷が拠点の平群氏の末裔である紀船守が祖神・平群木菟宿禰を祭ったと考えられます。

### 平群坐紀氏神社 (平群町)



平安時代は平群町椿井にあったとされ、中世に

天兒屋根命を勧請し、春日神社と称しました。現在地に遷座し、改称した時期は不明です。神社に付属する「神宮寺」である珍楽寺(神仏分離で廃止)、手水鉢、氏子用の座小屋(神事の詰め所)、中央に通路が

ある割拝殿、本殿など、昔の形式が残る平群谷の代表的な神社です。同町の三つの大字(上庄、榎原、西向)の氏の神で、座小屋が拜殿を挟むように三方に配され、榎原の小屋のみ床板が敷かれていきます。本殿は春日造り(切妻屋根で、棟と直角な面に入り口があ

る様式)で朱塗り、屋根は銅板ぶきです。社務所には「珍楽寺」という仏間があり、本尊の十一面観音立像が祭られています。夏秋の大祭は三つの大字の「座衆」が催行します。宵宮祭には湯立が行われ、湯釜は1841(天保12)年の銘があります。夏祭り当日は6歳までの男児の相撲が奉納されます。

# 夏祭りに子供相撲奉納

(奈良まほろばソムリエの会会員 喜多村英夫)